

プロテックスの抗体検査サービスとは①

＜抗体検査（ELISA法：酵素結合免疫吸着検査法）＞

- 血液中に存在する、新型コロナウイルス抗体の有無が分かります（定量検出）
- 過去の感染有無（感染履歴）を確認できます。
- 医療施設へ行かずに、抗体検査を受けられます。

＜対象者＞※法人のお客様向けのサービスです

- 感染者との濃厚接触及び、COVID-19の症状が2週間以上出ていない人。

＜検査の目的＞

- 職場の感染予防対策を強化することができます。

＜検査結果の利用方法＞

- 検査結果を基に、①未感染者/感染履歴の把握、②対策の有効性確認、③対策の強化を実施できます。これらを職場毎に実施することで、企業イメージのUP、職場環境の改善、従業員の安心感UPなどにつながります。
- 職場のウイルス感染状況を検査毎に見える化し、労務管理に活かす。
- エリア、業務別に感染状況を把握し、予防対策の改善処置を図る。
- 複数回行うことで、職場の感染症防止対策、ゾーニング策の有用性把握

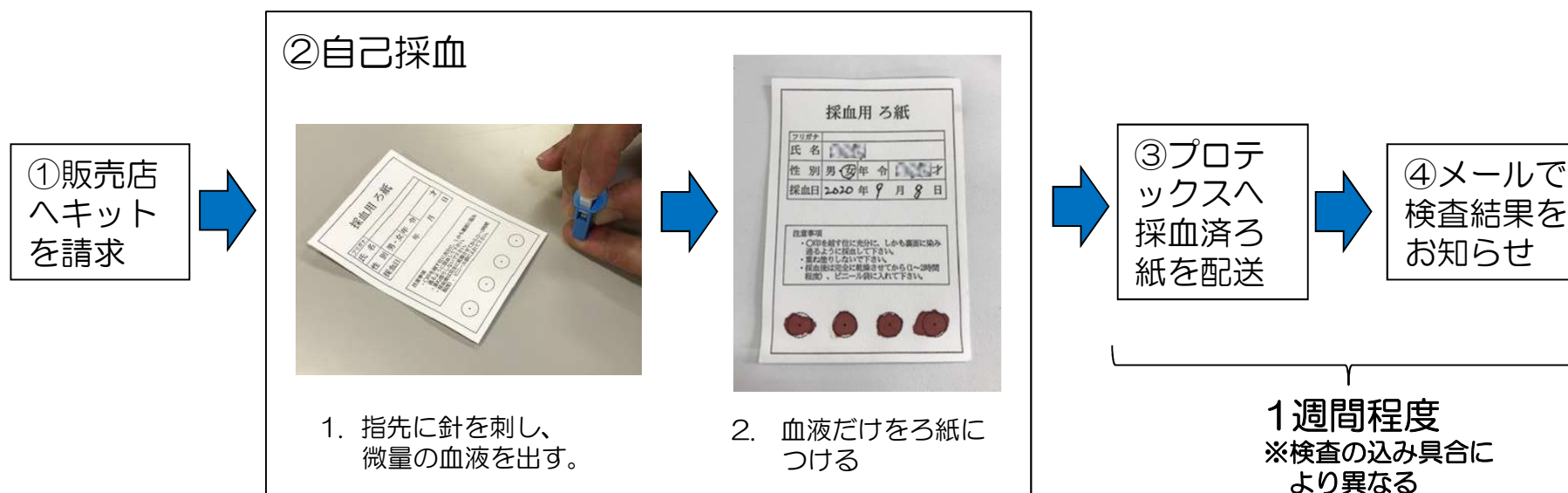
プロテックスの抗体検査サービスとは②

＜医療施設に行かずに、抗体検査可能＞

自己採血

常に忙しいビジネスパーソンにとって、わざわざ時間を取って、医療施設で採血しに行くことや、長時間待った末に、検査されるのは、厄介。

なので、自分の良いときに簡単に採血してしまいうことが出来るキットを用意しました。



- 会社、自宅等で簡単に採血可能なため、定期検査も苦にならない。
※自己採血の際は、手洗い、消毒など、適切な衛生管理をお願い致します。

プロテックスの抗体検査サービスとは③

＜2つの抗体検査の比較＞

プロテックスの抗体検査サービスは、簡易迅速診断キット（イムノクロマト法）ではありません。

	陽性化率	定量検査	検査時間	結果の安定性
イムノクロマト	△	×	○	△
プロテックス 抗体検査サービス (ELISA検査)	○	○	△	◎

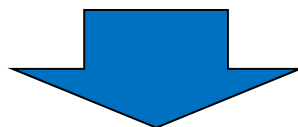
- 市販のイムノクロマトは、短時間で検査可能だが、誤判定が出やすい。
- 市販のイムノクロマトは、個人差、生産ロット間差による、検査誤差が生じる。
- プロテックスの抗体検査サービスは、イムノクロマトに比べ、精細に抗体を検出できる。定量検査が可能。

一般社団法人日本感染症学会の抗体検査指針

市販の4社の簡易迅速診断キット（イムノクロマト法）で陽性者5名を検査

	A社	B社	C社	D社
陽性	2	0	3	4
検出感度未満	3	5	2	1

「抗新型コロナウイルス抗体の検出を原理とする検査キット 4 種の性能に関する予備的検討」
(2020年4月17日 一般社団法人日本感染症学会)



市販の4社の簡易迅速診断キットは、キット間の差が大きく、誤った判定をしてしまう可能性が高い。
そのため、日本国内で権威のある一般社団法人日本感染症学会では、抗体検査に関して、精緻な方法である、抗体価の測定が可能な enzyme-linked immunosorbent assay (ELISA法) で評価することを推奨している。